

企001	項目名	若者定住促進事業費	新規事業																									
予算書項目	総合企画費	ページ	175																									
年度	R6	所属名	企画推進部 政策企画課																									
会計名	事業の概要																											
一般会計	【問合せ先】 広域連携係 0857-30-8013																											
款 総務費	【1次総の施策体系】 1101 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン																											
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 人口減少・少子高齢化が進行する中、鳥取市をはじめ麒麟のまち圏域が連携し、将来にわたって継続・発展していくための、若者定住につながる施策に取り組むことが求められている。現在、「すごい！鳥取市婚活サポートセンター」の対象者を麒麟のまち圏域に拡大し「麒麟のまち婚活サポートセンター」として運営している。																											
目 企画費	【事業の目的及び効果】 結婚を希望する男女の「婚活」を支援することにより、結婚による若者の定住を促進し、圏域の人口増加を図る。																											
(単位：千円)	【事業の内容】 麒麟のまち婚活サポートセンターの運営を委託し、出会いの機会の創出を図るとともに、成婚へつながるようサポートを行う。 ・婚活イベントの開催 ・会員対象のサークル活動 ・カップル対象イベントの開催 ・スキルアップのための各種セミナーの開催 ・出会いから結婚までのサポート ・会員管理システムの改修 など																											
前年度当初予算額	9,711	【事業の実績】																										
本年度要求額	15,076	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>[事業費]</td> <td>[登録会員数]</td> <td>[カップル成立数]</td> <td>[成婚者数]</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(うち会員同士)</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>9,461千円</td> <td>1,984人</td> <td>95組</td> <td>44人(7組)</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>9,260千円</td> <td>2,163人</td> <td>75組</td> <td>28人(6組)</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>9,711千円</td> <td>2,305人</td> <td>73組</td> <td>13人(0組)(見込)</td> </tr> </table> <p>※令和5年度実績は12月末時点 会員同士の成婚数 累計42組(平成26年度～令和5年12月末)</p>			[事業費]	[登録会員数]	[カップル成立数]	[成婚者数]					(うち会員同士)	令和3年度	9,461千円	1,984人	95組	44人(7組)	令和4年度	9,260千円	2,163人	75組	28人(6組)	令和5年度	9,711千円	2,305人	73組	13人(0組)(見込)
	[事業費]	[登録会員数]	[カップル成立数]	[成婚者数]																								
				(うち会員同士)																								
令和3年度	9,461千円	1,984人	95組	44人(7組)																								
令和4年度	9,260千円	2,163人	75組	28人(6組)																								
令和5年度	9,711千円	2,305人	73組	13人(0組)(見込)																								
総務部長段階査定額	13,083	【事業の内容】																										
市長段階査定額	13,083	麒麟のまち婚活サポートセンターの運営を委託し、出会いの機会の創出を図るとともに、成婚へつながるようサポートを行う。 ・婚活イベントの開催 ・会員対象のサークル活動 ・カップル対象イベントの開催 ・スキルアップのための各種セミナーの開催 ・出会いから結婚までのサポート ・会員管理システムの改修 など																										
区分	本年度予算額	【事業の実績】																										
財源内訳		<table border="1"> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>6,542</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>6,541</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>13,083</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		国・県支出金	6,542				地方債	0				その他	0				一般財源	6,541				計	13,083			
国・県支出金	6,542																											
地方債	0																											
その他	0																											
一般財源	6,541																											
計	13,083																											
備考欄																												

企002	項目名	総合計画策定事業費	新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	175
年度	R6	所属名	企画推進部 政策企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 地方創生・デジタル化推進室 0857-30-8014		
款 総務費	【1次総の施策体系】 0001		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 第1次鳥取市総合計画を令和3年4月に策定し、本市の将来像の実現に向け、各施策を展開してきた。この基本計画期間(令和3年～7年度)が令和7年度で期間満了となるため、第12次鳥取市総合計画(基本計画期間：令和8年度～令和12年度)の策定準備に取り組む。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 令和8年度を初年度とする第12次鳥取市総合計画及びその重点施策である第3期鳥取市創生総合戦略の策定に向け、必要な各種データの収集・分析を行うとともに、市民・各団体・各附属機関など幅広く意見をいただき、計画づくりに反映させる。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	0	1 総合計画策定に必要な各種データの収集・分析 市民、学生等に対する意識調査や人口推計、本市の特性分析等を行い、計画策定に必要なデータの収集及び分析を行う。	
本年度要求額	21,391	2 総合計画策定市民ワークショップの開催 総合計画を市民との協働により策定するため、ワークショップを開催し、総合計画づくりに反映させる。	
総務部長段階査定額	13,865	3 庁内体制の整備 総合計画策定庁内プロジェクトチームの設置等、計画策定に必要な体制を整備する。	
市長段階査定額	13,865		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	13,865		
計	13,865		
備考欄			

企003	項目名	若者による地方創生政策推進事業費	新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	175
年度	R6	所 属 名	企画推進部 政策企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】企画調整係 0857-30-8012		
款 総務費	【1次総の施策体系】1405 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 本市では、平成27年度から始まった地方創生の取組を受けて、従前の「鳥取市若者会議」を見直し、平成28年4月から、若者の視点による地方創生に向けた取組の深化を図ることを目的に、「とっとり若者地方創生会議」を設置している。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 若者自らが、地方創生に関する調査研究を行い、若者の視点による必要な施策を市に提言することで、本市の地方創生に向けた取組の深化を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 公募や団体推薦により集まった若者（大学生や専門学校生等）により「とっとり若者地方創生会議」を組織し、年間を通じた会議や視察、イベントなどの調査研究活動を通じて、若者定住やまちの賑わいづくりに資する施策を取りまとめ、市に提言する。 ・会議の開催 20回 ・補助金を活用した事業の実施 1回		
前年度当初予算額	677	【事業の実績】	
本年度要求額	677	[事業費] [委員] [会議] 令和3年度 386千円 7名（大学生5名、専門学校生2名） 17回 令和4年度 355千円 9名（大学生8名、専門学校生1名） 17回 令和5年度 677千円 9名（大学生7名、専門学校生2名） 20回（見込） ※会議の回数には成果発表会1回を含む。	
総務部長段階査定額	677	【事業の内訳】	
市長段階査定額	677	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳	135	[総事業費] [創生戦略会議] [ビジョン] [エリアプロモーション] 令和3年度 14,998千円 3回 2回 5,505千円 令和4年度 2,491千円 3回 3回 2,177千円 令和5年度 3,160千円 3回 2回 2,512千円（見込）	
国・県支出金	135	【事業の実績】	
地方債	0	令和3年度 14,998千円 3回 2回 5,505千円 令和4年度 2,491千円 3回 3回 2,177千円 令和5年度 3,160千円 3回 2回 2,512千円（見込）	
その他	0	【事業の実績】	
一般財源	542	令和3年度 14,998千円 3回 2回 5,505千円 令和4年度 2,491千円 3回 3回 2,177千円 令和5年度 3,160千円 3回 2回 2,512千円（見込）	
計	677	【事業の実績】	
備考欄			

企004	項目名	麒麟のまち創生推進事業費	新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	175
年度	R6	所 属 名	企画推進部 政策企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】広域連携係 0857-30-8013		
款 総務費	【1次総の施策体系】2204 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 鳥取市と岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、香美町、新温泉町の1市6町は、連携中枢都市圏を形成し、人口減少・少子高齢社会にあっても、圏域の持続的発展をめざし、広域連携による取組を進めている。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 麒麟のまち創生戦略会議と連携中枢都市圏ビジョン懇談会による連携中枢都市圏ビジョンの進捗管理を行う。 また、圏域住民の地域愛着度向上を目的として、圏域住民に向けた圏域各市町の相互理解を図るエリアプロモーションに取り組む。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・麒麟のまち創生戦略会議の開催 3回 ・連携中枢都市圏ビジョン懇談会の開催 2回 ・エリアプロモーション事業 麒麟のまちで見つけた！魅力投稿キャンペーン（2,986千円）		
前年度当初予算額	3,897	【事業の実績】	
本年度要求額	4,323	[総事業費] [創生戦略会議] [ビジョン] [エリアプロモーション] 令和3年度 14,998千円 3回 2回 5,505千円 令和4年度 2,491千円 3回 3回 2,177千円 令和5年度 3,160千円 3回 2回 2,512千円（見込）	
総務部長段階査定額	3,453	【事業の内訳】	
市長段階査定額	3,453	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳	1,493	[総事業費] [創生戦略会議] [ビジョン] [エリアプロモーション] 令和3年度 14,998千円 3回 2回 5,505千円 令和4年度 2,491千円 3回 3回 2,177千円 令和5年度 3,160千円 3回 2回 2,512千円（見込）	
国・県支出金	1,493	【事業の実績】	
地方債	0	令和3年度 14,998千円 3回 2回 5,505千円 令和4年度 2,491千円 3回 3回 2,177千円 令和5年度 3,160千円 3回 2回 2,512千円（見込）	
その他	0	【事業の実績】	
一般財源	1,960	令和3年度 14,998千円 3回 2回 5,505千円 令和4年度 2,491千円 3回 3回 2,177千円 令和5年度 3,160千円 3回 2回 2,512千円（見込）	
計	3,453	【事業の実績】	
備考欄			

企005	項目名	鳥取・岡山県境連携推進協議会負担金	新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	175
年度	R6	所 属 名	企画推進部 政策企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 広域連携係 0857-30-8013		
款 総務費	【1次総の施策体系】 2204 ●実施計画		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 昭和44年に本協議会の前身である「鳥取・岡山県境開発促進協議会」が発足し、本市では合併前の用瀬町及び佐治村が加入していた。 旧協議会は、平成の大合併を前にいったん解散したが、合併が一段落した平成18年に、鳥取市、三朝町、倉吉市、江府町、日野町、日南町、新見市、西粟倉村、美作市、奈義町、津山市、鏡野町、真庭市、新庄村の14市町村により改めて発足した。 その後、平成20年に智頭町と若桜町が加入した。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 本協議会は、鳥取・岡山両県の県境に接する16市町村で構成されており、各市町村が連携し、関係機関等に対する要請、関係団体との連絡及び必要な調査研究を行うことにより地元産業の振興と地域開発を促進することを目的としている。		
(単位：千円)	【事業の内容】 鳥取・岡山県境連携推進協議会への参加 ・総会、会議等への出席 ・岡山県・鳥取県両知事への要望		
前年度当初予算額	22	【事業の実績】 ○会議等の開催（令和5年度、6年度：日野町が会長） ・総会（1回） ・構成市町村担当課長・担当者会議（1回） ○研究・勉強会の開催 ・構成市町村（1回） ○要望活動 岡山県及び鳥取県へ会長、副会長による要望書の提出	
本年度要求額	7		
総務部長段階査定額	7	【事業の目的及び効果】	
市長段階査定額	7	本協議会は、鳥取・岡山両県の県境に接する16市町村で構成されており、各市町村が連携し、関係機関等に対する要請、関係団体との連絡及び必要な調査研究を行うことにより地元産業の振興と地域開発を促進することを目的としている。	
区分	本年度予算額	【事業の内容】	
財源内訳		鳥取・岡山県境連携推進協議会への参加	
国・県支出金	0	・総会、会議等への出席	
地方債	0	・岡山県・鳥取県両知事への要望	
その他	0	【事業の実績】	
一般財源	7	○会議等の開催（令和5年度、6年度：日野町が会長）	
計	7	・総会（1回）	
		・構成市町村担当課長・担当者会議（1回）	
		○研究・勉強会の開催	
		・構成市町村（1回）	
		○要望活動	
		岡山県及び鳥取県へ会長、副会長による要望書の提出	
備考欄			

企006	項目名	シティセールス推進事業費	新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	175
年度	R6	所 属 名	企画推進部 政策企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 広域連携係 0857-30-8013		
款 総務費	【1次総の施策体系】 2203 ●実施計画		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 平成29年度より「鳥取市シティセールス戦略」を策定し、ブランドスローガン「SQのあるまち」に基づく各施策を展開している。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 ブランドスローガン「SQのあるまち」の浸透を図るとともに、「鳥取市シティセールス戦略」に基づく事業を展開し、鳥取市ブランドを確立し、人や企業から選ばれるまち鳥取市の実現をめざす。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・シティセールス戦略推進会議の開催 2回 ・SQのあるまち推進職員研修の開催 1回		
前年度当初予算額	601	【事業の実績】	
本年度要求額	601	[シティセールス戦略推進会議] [職員研修の開催]	
総務部長段階査定額	601	[事業費]	
市長段階査定額	601	令和3年度 1,959千円 2回	
区分	本年度予算額	令和4年度 315千円 1回	
財源内訳		令和5年度 584千円 1回	
国・県支出金	0	[職員研修の開催]	
地方債	0	—	
その他	0	1回	
一般財源	601	1回 (見込)	
計	601		
備考欄			

企007	項目名	環境大学運営費交付金	新規事業																				
予算書項目	公立大学法人運営事業費	ページ	177																				
年度	R6	所 属 名	企画推進部 政策企画課																				
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】企画調整係 0857-30-8012																						
款 総務費	【1次総の施策体系】1102 ●実施計画																						
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 地方独立行政法人法第42条第1項の規定に基づき、公立鳥取環境大学の共同設置者の鳥取県と鳥取市は、同大学に対して運営費交付金等を交付している（鳥取県及び鳥取市の負担額は1/2ずつ）。																						
目 企画費	【事業の目的及び効果】 公立鳥取環境大学の安定的な運営を図るとともに、授業料等への支援が必要な学生の経済的負担の軽減を図る。																						
(単位：千円)	【事業の内容】 大学運営に必要な経費の一部について運営費交付金を交付するとともに、大規模な修繕等の経費に対して施設整備費補助金を交付する。また、高等教育の修学支援新制度に係る経費に対して授業料減免費等交付金を交付する。																						
前年度当初予算額	554,561	<ul style="list-style-type: none"> 運営費交付金の交付 496,930千円 施設整備費補助金の交付 25,158千円 授業料減免費等交付金の交付 41,517千円 																					
本年度要求額	563,605	【事業の実績】																					
総務部長段階査定額	563,605	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>[運営費交付金]</td> <td>[施設整備費補助金]</td> <td>[授業料減免費等交付金]</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>454,190千円</td> <td>36,897千円</td> <td>34,644千円</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>436,826千円</td> <td>51,249千円</td> <td>40,301千円</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>436,401千円</td> <td>42,010千円</td> <td>41,517千円 (見込)</td> </tr> </table>			[運営費交付金]	[施設整備費補助金]	[授業料減免費等交付金]	令和3年度	454,190千円	36,897千円	34,644千円	令和4年度	436,826千円	51,249千円	40,301千円	令和5年度	436,401千円	42,010千円	41,517千円 (見込)				
	[運営費交付金]	[施設整備費補助金]	[授業料減免費等交付金]																				
令和3年度	454,190千円	36,897千円	34,644千円																				
令和4年度	436,826千円	51,249千円	40,301千円																				
令和5年度	436,401千円	42,010千円	41,517千円 (見込)																				
市長段階査定額	563,605	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>贈収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収入	0																						
その他	0																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳	国・県支出金	0																					
	地方債	25,100																					
	その他	0																					
	一般財源	538,505																					
	計	563,605																					
備考欄																							

企008	項目名	鳥取市・麒麟のまち圏域魅力発見支援事業費	新規事業																				
予算書項目	高等教育機関在学学生支援事業費	ページ	177																				
年度	R6	所 属 名	企画推進部 政策企画課																				
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】企画調整係 0857-30-8012																						
款 総務費	【1次総の施策体系】2201 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン																						
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 本市では20代を中心に若年人口の社会減が続いており、若者定住に向けた取り組みの一つとして本市に所在する大学または専門学校に通う学生に、麒麟のまち圏域の企業や地域の魅力を知ってもらうことが必要である。																						
目 企画費	【事業の目的及び効果】 本市に所在する大学または専門学校に通う学生を対象に、麒麟のまち圏域の企業への就職促進や地域の魅力の理解促進を図ることで、若者定住につなげる。																						
(単位：千円)	【事業の内容】 本市に所在する大学または専門学校が、在学学生を対象に行う次の①または②の要件を満たす事業に対して助成を行う。																						
前年度当初予算額	6,000	<p>[対象事業]</p> <p>①学生の麒麟のまち圏域への就職を促進する事業 (補助対象経費) 外部講師への謝礼、市内の企業訪問に係る経費 など</p> <p>②学生が麒麟のまち圏域に住みたいと思えるような魅力を発見するための事業 (補助対象経費) 校外でのフィールドワークに係る経費 など</p> <p>[補助率]1/2</p>																					
本年度要求額	6,000	【事業の実績】																					
総務部長段階査定額	2,000	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>[事業費]</td> <td>[件数]</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>634千円</td> <td>3件 (大学2件、専門学校1件)</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>634千円</td> <td>3件 (大学2件、専門学校1件) (見込)</td> </tr> </table>			[事業費]	[件数]	令和4年度	634千円	3件 (大学2件、専門学校1件)	令和5年度	634千円	3件 (大学2件、専門学校1件) (見込)											
	[事業費]	[件数]																					
令和4年度	634千円	3件 (大学2件、専門学校1件)																					
令和5年度	634千円	3件 (大学2件、専門学校1件) (見込)																					
市長段階査定額	2,000	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>贈収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収入	0																						
その他	0																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳	国・県支出金	1,000																					
	地方債	0																					
	その他	0																					
	一般財源	1,000																					
	計	2,000																					
備考欄																							

企009	項目名	市政広報費	新規事業
予算書項目	市政広報費	ページ	171
年度	R6	所 属 名	企画推進部 秘書課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 広報室 0857-30-8008		
款 総務費	【1次総の施策体系】 2203 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 市民が行政情報を容易に取得できるように、ケーブルテレビ、新聞、テレビ、ラジオ、SNS等様々なメディアを活用し、多様なニーズに対応した情報提供を行う。		
目 文書広報費	【事業の目的及び効果】 さまざまなメディア・SNS等の持つ特性を生かしながら、市政情報を市民に届けていくことは、本市の広報戦略上重要な課題であり、市民の情報取得の利便性を高めつつ、効果的な情報発信・提供を行っていくことで市政情報の市民への浸透を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 (1) ケーブルテレビ・・・行政情報番組：毎週金・土曜日に30分番組 延べ20回×年50本、その他企画番組など (2) 新聞等・・・記事下広告等に市政情報を掲載、市長対談記事を年1回掲載 (3) テレビ・・・スポットCM及び企画番組 (4) ラジオ・・・市政広報番組、イベント情報番組など (5) 鳥取駅前地下道広告枠・・・市政情報や一般広告を掲出 (6) SNS・・・LINE、YouTubeやインターネット等を活用した市政関連情報の提供		
前年度当初予算額 56,376	【事業の実績】 令和3年度 54,448,310円 令和4年度 53,819,346円 令和5年度 56,376,000円(見込)		
本年度要求額 61,845	※その他財源の諸収入は、広告料収入		
総務部長段階査定額 56,160	【事業の内容】 (1) ケーブルテレビ・・・行政情報番組：毎週金・土曜日に30分番組 延べ20回×年50本、その他企画番組など (2) 新聞等・・・記事下広告等に市政情報を掲載、市長対談記事を年1回掲載 (3) テレビ・・・スポットCM及び企画番組 (4) ラジオ・・・市政広報番組、イベント情報番組など (5) 鳥取駅前地下道広告枠・・・市政情報や一般広告を掲出 (6) SNS・・・LINE、YouTubeやインターネット等を活用した市政関連情報の提供		
市長段階査定額 56,160	【事業の実績】 令和3年度 54,448,310円 令和4年度 53,819,346円 令和5年度 56,376,000円(見込)		
区分 本年度予算額	※その他財源の諸収入は、広告料収入		
財源内訳	【事業の内容】 (1) ケーブルテレビ・・・行政情報番組：毎週金・土曜日に30分番組 延べ20回×年50本、その他企画番組など (2) 新聞等・・・記事下広告等に市政情報を掲載、市長対談記事を年1回掲載 (3) テレビ・・・スポットCM及び企画番組 (4) ラジオ・・・市政広報番組、イベント情報番組など (5) 鳥取駅前地下道広告枠・・・市政情報や一般広告を掲出 (6) SNS・・・LINE、YouTubeやインターネット等を活用した市政関連情報の提供		
国・県支出金 0	【事業の実績】 令和3年度 54,448,310円 令和4年度 53,819,346円 令和5年度 56,376,000円(見込)		
地方債 0	※その他財源の諸収入は、広告料収入		
その他 209	【事業の内容】 (1) ケーブルテレビ・・・行政情報番組：毎週金・土曜日に30分番組 延べ20回×年50本、その他企画番組など (2) 新聞等・・・記事下広告等に市政情報を掲載、市長対談記事を年1回掲載 (3) テレビ・・・スポットCM及び企画番組 (4) ラジオ・・・市政広報番組、イベント情報番組など (5) 鳥取駅前地下道広告枠・・・市政情報や一般広告を掲出 (6) SNS・・・LINE、YouTubeやインターネット等を活用した市政関連情報の提供		
一般財源 55,951	【事業の実績】 令和3年度 54,448,310円 令和4年度 53,819,346円 令和5年度 56,376,000円(見込)		
計 56,160	※その他財源の諸収入は、広告料収入		
備考欄	【事業の内容】 (1) ケーブルテレビ・・・行政情報番組：毎週金・土曜日に30分番組 延べ20回×年50本、その他企画番組など (2) 新聞等・・・記事下広告等に市政情報を掲載、市長対談記事を年1回掲載 (3) テレビ・・・スポットCM及び企画番組 (4) ラジオ・・・市政広報番組、イベント情報番組など (5) 鳥取駅前地下道広告枠・・・市政情報や一般広告を掲出 (6) SNS・・・LINE、YouTubeやインターネット等を活用した市政関連情報の提供		

企010	項目名	鳥取市知名度アップ大作戦事業費	新規事業
予算書項目	市政広報費	ページ	171
年度	R6	所 属 名	企画推進部 秘書課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 広報室 0857-30-8008		
款 総務費	【1次総の施策体系】 2203 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 人口減少や地方分権の流れから地域間競争が激化することを見据え、平成20年度から知名度アップ事業を実施。「すごい！鳥取市」に続き、「#鳥取家族」をキャッチコピーとするシティプロモーション戦略を展開し、全国的な認知度の向上に取り組んでいる。		
目 文書広報費	【事業の目的及び効果】 本市の全国的な知名度・認知度の向上により、観光入込客数や移住定住者の増加を図るとともに、本市に在住する市民自身も、自信と誇りを持てる市民愛着度の向上につなげていくことで、住む人・来る人に愛され続ける鳥取市の実現を推進する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 シティプロモーション「#鳥取家族」では、市民が主役のプロモーションを展開し、鳥取市ならではの魅力を全国に向けて発信することで本市のイメージ定着を図ってきた。今後も、アフターコロナにおける価値観や行動様式の変化を的確に捉えながら、鳥取市で暮らすことの意義を効果的にPRし、全国的な認知度を獲得することで関係人口や定住人口の増加、市民愛着度の向上につなげる。		
前年度当初予算額 17,745	【事業の実績】 令和3年度 17,560,613円 令和4年度 17,609,599円 令和5年度 17,745,000円(見込)		
本年度要求額 27,295	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金		
総務部長段階査定額 17,745	【事業の内容】 シティプロモーション「#鳥取家族」では、市民が主役のプロモーションを展開し、鳥取市ならではの魅力を全国に向けて発信することで本市のイメージ定着を図ってきた。今後も、アフターコロナにおける価値観や行動様式の変化を的確に捉えながら、鳥取市で暮らすことの意義を効果的にPRし、全国的な認知度を獲得することで関係人口や定住人口の増加、市民愛着度の向上につなげる。		
市長段階査定額 17,745	【事業の実績】 令和3年度 17,560,613円 令和4年度 17,609,599円 令和5年度 17,745,000円(見込)		
区分 本年度予算額	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金		
財源内訳	【事業の内容】 シティプロモーション「#鳥取家族」では、市民が主役のプロモーションを展開し、鳥取市ならではの魅力を全国に向けて発信することで本市のイメージ定着を図ってきた。今後も、アフターコロナにおける価値観や行動様式の変化を的確に捉えながら、鳥取市で暮らすことの意義を効果的にPRし、全国的な認知度を獲得することで関係人口や定住人口の増加、市民愛着度の向上につなげる。		
国・県支出金 0	【事業の実績】 令和3年度 17,560,613円 令和4年度 17,609,599円 令和5年度 17,745,000円(見込)		
地方債 0	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金		
その他 17,745	【事業の内容】 シティプロモーション「#鳥取家族」では、市民が主役のプロモーションを展開し、鳥取市ならではの魅力を全国に向けて発信することで本市のイメージ定着を図ってきた。今後も、アフターコロナにおける価値観や行動様式の変化を的確に捉えながら、鳥取市で暮らすことの意義を効果的にPRし、全国的な認知度を獲得することで関係人口や定住人口の増加、市民愛着度の向上につなげる。		
一般財源 0	【事業の実績】 令和3年度 17,560,613円 令和4年度 17,609,599円 令和5年度 17,745,000円(見込)		
計 17,745	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金		
備考欄	【事業の内容】 シティプロモーション「#鳥取家族」では、市民が主役のプロモーションを展開し、鳥取市ならではの魅力を全国に向けて発信することで本市のイメージ定着を図ってきた。今後も、アフターコロナにおける価値観や行動様式の変化を的確に捉えながら、鳥取市で暮らすことの意義を効果的にPRし、全国的な認知度を獲得することで関係人口や定住人口の増加、市民愛着度の向上につなげる。		

企011	項目名	国際交流費	新規事業
予算書項目	国際交流促進費	ページ	177
年度	R6	所 属 名 企画推進部 文化交流課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】都市交流係 0857-30-8022		
款 総務費	【1次総の施策体系】2205 ●実施計画		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 姉妹都市である韓国・清州市やドイツ・ハーナウ市、交流都市である中国・延辺朝鮮族自治州、本市に縁のあるブラジル鳥取県人会などの国際交流を推進している。これまでに培われた関係性を基盤としつつ、経済をはじめとする幅広い分野において交流の拡大・深化を図る必要がある。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 官民が連携しつつ、姉妹都市や交流都市などとの交流を推進することにより、市民の国際意識の高揚、相互理解の増進、関係・交流人口の拡大を図るとともに、外国人住民支援団体などとの連携を深めることにより、多文化共生のまちづくりの推進を図ることで、地域の活性化につなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 (1) 国際姉妹都市などとの交流事業 (2) 外国人住民支援団体等との連携強化		
前年度当初予算額	1,182	【事業の実績】 令和5年度実績 (1) 交流事業 ・ハーナウ市関係の民間交流団体同士のオンライン交流 ・清州市関係の民間交流団体同士の対面交流 (2) 外国人住民支援団体等との意見交換会 1回	
本年度要求額	2,084		
総務部長段階査定額	1,248	【事業の内容】 (1) 国際姉妹都市などとの交流事業 (2) 外国人住民支援団体等との連携強化	
市長段階査定額	1,248	【事業の実績】 令和5年度実績 (1) 交流事業 ・ハーナウ市関係の民間交流団体同士のオンライン交流 ・清州市関係の民間交流団体同士の対面交流 (2) 外国人住民支援団体等との意見交換会 1回	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 (1) 国際姉妹都市などとの交流事業 (2) 外国人住民支援団体等との連携強化	
財源内訳		【事業の実績】 令和5年度実績 (1) 交流事業 ・ハーナウ市関係の民間交流団体同士のオンライン交流 ・清州市関係の民間交流団体同士の対面交流 (2) 外国人住民支援団体等との意見交換会 1回	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,248		
計	1,248		
備考欄			

企012	項目名	国内都市交流総合推進費	新規事業
予算書項目	国内交流推進費	ページ	177
年度	R6	所 属 名 企画推進部 文化交流課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】都市交流係 0857-30-8022		
款 総務費	【1次総の施策体系】2205 ●実施計画		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 姉妹都市である北海道釧路市、兵庫県姫路市、山口県岩国市、福島県郡山市、歴史的なつながりや共通するテーマなどがある他都市、各地域の県人会などとの交流を推進している。これまでに培われた関係性を基盤としつつ、経済をはじめとする幅広い分野において交流の拡大・深化を図る必要がある。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 官民が連携しつつ、姉妹都市などとの交流を促進することにより、相互理解の増進、関係・交流人口の拡大を図ることで、地域の活性化につなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 国内姉妹都市をはじめ、関西圏や近隣都市、各県人会を核とする交流事業を展開する。 ・郡山市市制施行100周年記念式典参加 ・郡山市との和紙交流の実施 ・鳥取市施設の入館料減免キャンペーン（姉妹都市市民向け） ・お城まつりにおける姉妹都市物産展受入 ・各県人会総会参加		
前年度当初予算額	5,181	【事業の実績】 令和3年度 各県人会総会参加、郡山市との和紙交流、第5回全国吉川交流会 令和4年度 各県人会総会参加、姫路市との姉妹都市提携50周年記念事業、郡山市との和紙交流、鳥取市施設の入館料減免キャンペーン（姫路市民向け） 令和5年度 各県人会総会参加、釧路市との姉妹都市提携60周年記念事業、郡山市との和紙交流、お城まつり姉妹都市ブース、鳥取市施設の入館料減免キャンペーン（釧路・姫路市民向け）	
本年度要求額	1,327		
総務部長段階査定額	1,327	【事業の内容】 国内姉妹都市をはじめ、関西圏や近隣都市、各県人会を核とする交流事業を展開する。 ・郡山市市制施行100周年記念式典参加 ・郡山市との和紙交流の実施 ・鳥取市施設の入館料減免キャンペーン（姉妹都市市民向け） ・お城まつりにおける姉妹都市物産展受入 ・各県人会総会参加	
市長段階査定額	1,327	【事業の実績】 令和3年度 各県人会総会参加、郡山市との和紙交流、第5回全国吉川交流会 令和4年度 各県人会総会参加、姫路市との姉妹都市提携50周年記念事業、郡山市との和紙交流、鳥取市施設の入館料減免キャンペーン（姫路市民向け） 令和5年度 各県人会総会参加、釧路市との姉妹都市提携60周年記念事業、郡山市との和紙交流、お城まつり姉妹都市ブース、鳥取市施設の入館料減免キャンペーン（釧路・姫路市民向け）	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 国内姉妹都市をはじめ、関西圏や近隣都市、各県人会を核とする交流事業を展開する。 ・郡山市市制施行100周年記念式典参加 ・郡山市との和紙交流の実施 ・鳥取市施設の入館料減免キャンペーン（姉妹都市市民向け） ・お城まつりにおける姉妹都市物産展受入 ・各県人会総会参加	
財源内訳		【事業の実績】 令和3年度 各県人会総会参加、郡山市との和紙交流、第5回全国吉川交流会 令和4年度 各県人会総会参加、姫路市との姉妹都市提携50周年記念事業、郡山市との和紙交流、鳥取市施設の入館料減免キャンペーン（姫路市民向け） 令和5年度 各県人会総会参加、釧路市との姉妹都市提携60周年記念事業、郡山市との和紙交流、お城まつり姉妹都市ブース、鳥取市施設の入館料減免キャンペーン（釧路・姫路市民向け）	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,327		
計	1,327		
備考欄			

企013	項目名	文化振興費	新規事業
予算書項目	文化振興費	ページ	287
年度	R6	所 属 名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021		
款 教育費	【1次総の施策体系】2301 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 少子・高齢化の進行などにより、文化芸術団体の構成員や伝統文化の保存団体が減少している。地域の文化芸術活動の持続・発展のため、活動者に対する支援や新たな担い手を発掘・育成していく必要がある。		
目 文化振興費	【事業の目的及び効果】 文化芸術団体などの活動に対する支援を行うとともに、青少年に優れた芸術を鑑賞する機会を提供することにより、豊かな人間性の育成や将来の文化芸術の担い手の育成を図ることで、本市の文化芸術の持続・発展につなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ●児童生徒を対象とした文化芸術事業 伝統芸能の鑑賞、演劇ワークショップ等 ●次世代育成の推進 若年層を対象とした文化芸術事業の実施 (0歳児からのコンサート、吹奏楽クリニック等) ●文化団体の育成 ①鳥取市文化団体協議会などの活動に要する経費の補助 ②鳥取市文化団体協議会所属団体などの文化施設使用料減免に係る補填		
前年度当初予算額	7,667	【事業の実績】 令和3年度 7,363千円 令和4年度 7,197千円 令和5年度 7,347千円(見込)	
本年度要求額	7,863	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
総務部長段階査定額	7,851	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	7,851	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳	国・県支出金 995	使用料	0
	地方債 0	手数料	0
	その他 3,419	財産収入	0
	一般財源 3,437	寄付金	0
計	7,851	繰入金	3,419
		贈収金	0
		その他	0
備考欄			

企014	項目名	文化芸術推進事業補助金	新規事業
予算書項目	文化振興費	ページ	287
年度	R6	所 属 名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021		
款 教育費	【1次総の施策体系】2301 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 本市では、さまざまな分野の文化芸術団体や伝統文化の保存団体などが活動を行っている。地域の文化芸術活動の持続・発展に向けて、これら市民主体の活動を促進していく必要がある。		
目 文化振興費	【事業の目的及び効果】 市民による文化芸術に関する活動や、伝統文化の保存活動に対する支援を行うことにより、地域の文化芸術活動の持続・発展につなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 (1) 童謡唱歌100曲マラソン 地元音楽団体による童謡・唱歌の歌唱リレー (2) 文化芸術推進事業補助金 文化芸術団体が実施する文化芸術に関する事業に必要な経費の補助 ・市民文化祭開催補助 ・伝統・郷土芸能団体備品整備補助 ・国民文化祭参加補助 など		
前年度当初予算額	9,790	【事業の実績】 補助件数 令和3年度 12件 令和4年度 14件 令和5年度 18件(見込)	
本年度要求額	7,340	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
総務部長段階査定額	7,340	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	7,340	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳	国・県支出金 1,556	使用料	0
	地方債 0	手数料	0
	その他 4,000	財産収入	0
	一般財源 1,784	寄付金	0
計	7,340	繰入金	4,000
		贈収金	0
		その他	0
備考欄			

企015	項目名	文化施設のあり方に関する検討事業費	新規事業
予算書項目	文化振興費	ページ	287
年度	R6	所 属 名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021		
款 教育費	【1次総の施策体系】2301 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 本市の主要な文化施設の老朽化に対応するため、平成31年2月、関係課で構成する「市民会館等文化施設のあり方検討庁内会議」を設置し、文化施設再編の方向性について、内部での調査研究を行っている。 併せて、令和4年8月には、各分野の専門家や公募委員で構成する「ホール等文化施設のあり方に関する検討委員会」を設置。令和5年5月、本検討委員会からの提言書を踏まえ、ホール等文化施設のあり方に関する基本方針（素案）を策定し、市民政策コメントを実施した。その後、庁内検討会議でさらに議論を行い、令和6年2月に「ホール等文化施設のあり方に関する基本方針」を策定した。		
目 文化振興費	【事業の目的及び効果】 ホール等文化施設のあり方に関する基本方針を踏まえ、専門家の方々で構成する検討組織を設置し、新たに整備する文化施設の具体的な機能や規模等について検討を行うことにより、本市の文化芸術のさらなる振興につなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ホール等文化施設整備基本計画の策定 ・ 専門家委員会による検討 ・ 専門家委員会開催支援業務の委託		
前年度当初予算額	249	【事業の実績】 令和4年度 180千円 令和5年度 66千円（見込）	
本年度要求額	33,642	※その他財源の繰入金は、人づくり・まちづくり基金繰入金	
総務部長段階査定額	19,053	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	19,053	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	18,000
		贈収金	0
		その他	0
区分	本年度予算額	備考欄	
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	18,000		
一般財源	1,053		
計	19,053		

企016	項目名	舞台芸術X地域活性化事業費	新規事業
予算書項目	文化振興費	ページ	287
年度	R6	所 属 名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021		
款 教育費	【1次総の施策体系】2301 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 NPO法人「鳥の劇場」は、市から旧鹿野小学校体育館等を借り受け、演劇公演を中心に多彩なプログラムを提供する「鳥の演劇祭」を毎年開催するなど、本市の文化芸術の振興、国内外への発信、鹿野地域の賑わい創出などに寄与している。 本市は、鳥の劇場、鳥取県、地域住民などと連携し、「鳥の劇場」の舞台芸術を核とした地域の活性化に向けて取組を推進している。		
目 文化振興費	【事業の目的及び効果】 他地域にはない固有の資源である「鳥の劇場」、「舞台芸術」を生かした人材育成、交流促進、産業振興、賑わい創出などの取組を一体的に推進することにより、劇場施設を中心とした地域一帯を、多様な人々が「出合い」、「集い」、「学び」、「つながる」交流拠点エリアとして確立していくことで、文化芸術の振興、産業の振興、交流・関係・定住人口の増加などによる地域の活性化をめざす。		
(単位：千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	51,900	(1) 文化交流拠点施設整備事業 【補助金：118,272千円】 ・ 新バックヤード建築 177,408千円 × 2/3補助率	
本年度要求額	125,851	(2) 舞台芸術×人材育成モデル事業【委託料：4,675千円】 ・ 演劇塾開催事業 ・ 市民演劇講座開催事業 ・ 小・中学生劇場空間体験事業 ・ 企業研修トライアル事業	
総務部長段階査定額	125,447	(3) 舞台芸術×賑わい創出モデル事業【補助金：2,500千円】 ・ 鳥の劇場及び周辺を会場とする「鳥の演劇祭」の開催に対する支援	
市長段階査定額	125,447	【事業の実績】 令和5年度（見込） 59,116千円 旧鹿野小学校校舎一部解体、旧幼稚園舎改修 演劇塾開催事業等委託および鳥の演劇祭開催支援	
区分	本年度予算額	※その他財源の繰入金は、人づくり・まちづくり基金繰入金	
財源内訳			
国・県支出金	62,723		
地方債	0		
その他	12,000		
一般財源	50,724		
計	125,447		
		分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	12,000
		贈収金	0
		その他	0
		備考欄	

企017	項目名	麒麟のまち鳥取市美術展開催費	新規事業
予算書項目	麒麟のまち鳥取市美術展開催費	ページ	287
年度	R6	所 属 名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021		
款 教育費	【1次総の施策体系】2301 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】		
目 文化振興費	市民に文化芸術を身近に感じていただく機会として、1962年（昭和37年）より毎年美術展を開催している。本市の文化芸術の持続・発展に向けて、実施内容などを随時検討しつつ、今後も継続していく必要がある。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	3,706	市民が芸術作品を制作・鑑賞する機会を提供することにより、市民の創作意欲や文化芸術に対する意識の高揚を図ることで、本市の文化芸術の持続・発展につなげる。	
本年度要求額	3,892	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	3,892	(1) 委託先 麒麟のまち鳥取市美術展運営委員会	
市長段階査定額	3,892	(2) 部 門 日本画、洋画、書道、工芸、版画、彫刻、写真、デザイン、自由	
区分	本年度予算額	(3) 会 場 鳥取県立博物館	
財源内訳	国・県支出金 670	(4) 会 期 令和6年6月2日～6月9日	
地方債 0	地方債 0	(5) 出品資格 中学生以上で、麒麟のまち圏域（鳥取・岩美・若桜・智頭・八頭・香美・新温泉）在住、または鳥取市に通勤通学をしている人	
その他 3,222	手数料 0	【事業の実績】	
一般財源 0	財産収入 0	【鑑賞者数】	
計 3,892	寄付金 0	令和3年度 2,172人（特別展示：やまびこ館4,539人）（60回記念）	
	繰入金 2,682	令和4年度 2,020人（受賞作品展示：やまびこ館1,168人）	
	贈収入 540	令和5年度 2,065人（受賞作品展示：やまびこ館1,803人）	
	その他 0	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
備考欄	※その他財源の諸収入は、美術展出品料収入		

企018	項目名	麒麟のまち日本遺産魅力発信推進事業費	新規事業
予算書項目	麒麟のまち日本遺産魅力発信推進事業費	ページ	287
年度	R6	所 属 名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021		
款 教育費	【1次総の施策体系】2301		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】		
目 文化振興費	令和元年5月、麒麟獅子舞をはじめ、麒麟のまち圏域内の31の文化財で構成するストーリーが「日本遺産」に認定された。これを受け、麒麟のまち圏域1市6町と一般社団法人麒麟のまち観光局は、「日本遺産『麒麟のまち』推進協議会」を設立し、圏域の活性化に向けて情報発信や普及啓発などの取組を推進している。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	2,400	日本遺産ストーリーや構成文化財の情報発信、来訪者の受入体制の充実などに取り組むことにより、麒麟のまち圏域への来訪者の増加、圏域内での周遊の促進、住民意識の高揚を図ることで、圏域の活性化につなげる。	
本年度要求額	3,600	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	3,600	日本遺産「麒麟のまち」推進協議会が実施する情報発信、商品造成、普及啓発などの事業に要する経費を補助する。	
市長段階査定額	3,600	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	令和3年度 12,400千円	
財源内訳	国・県支出金 0	令和4年度 2,400千円	
地方債 0	手数料 0	令和5年度 2,400千円（見込）	
その他 3,600	財産収入 0	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
一般財源 0	寄付金 0		
計 3,600	繰入金 3,600		
	贈収入 0		
	その他 0		
備考欄			

企019	項目名	市民会館施設管理費		新規 事業
予算書項目	施設管理費	ページ	289	所 属 名 企画推進部 文化交流課
年度	R6			
会計名				
一般会計				
款	教育費			
項	社会教育費			
目	市民会館管理費			
(単位：千円)				
前年度当初予算額	63,617			
本年度要求額	76,743			
総務部長段階査定額	50,483	その他財源の内訳		
市長段階査定額	50,483	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区 分	本年度予算額			
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	50,483			
計	50,483			
備考欄				
事業の概要 【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021 【1次総の施策体系】2301 ●実施計画 ●創生総合戦略 【事業の経過及び背景】 1967年（昭和42年）から鳥取市民会館の運営を行っており、市民の文化芸術活動の拠点の一つとなっている。2010年（平成22年）に耐震改修などを実施したものの、老朽化が進行していることから、適正な維持管理と併せて今後の方向性を検討する必要がある。 【事業の目的及び効果】 市民の文化芸術活動などの拠点の一つとして市民会館の適正な管理運営を行うことにより、施設の機能維持を図ることで、利用者の安全・安心や利便性の確保につなげる。 【事業の内容】 ・指定管理者（一般財団法人鳥取市教育福祉振興会）による管理運営（期間：令和6年4月1日～令和11年3月31日） ・市民会館空調設備改修調査業務 【事業の実績】 [利用者数] 令和3年度 28,802人 令和4年度 37,753人 令和5年度 47,800人（見込）				

企020	項目名	国際交流プラザ管理運営費		新規 事業
予算書項目	国際交流プラザ運営費	ページ	177	所 属 名 企画推進部 文化交流課 国際交流プラザ
年度	R6			
会計名				
一般会計				
款	総務費			
項	総務管理費			
目	企画費			
(単位：千円)				
前年度当初予算額	6,424			
本年度要求額	7,238			
総務部長段階査定額	7,238	その他財源の内訳		
市長段階査定額	7,238	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区 分	本年度予算額			
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	7,238			
計	7,238			
備考欄				
事業の概要 【問合せ先】国際交流プラザ 0857-31-3253 【1次総の施策体系】1404 ●実施計画 ●創生総合戦略 【事業の経過及び背景】 日本人住民と外国人住民の相互理解や国際交流を促進するため、1997年（平成9年）から国際交流プラザの運営を行っている。本市の多文化共生のまちづくりを推進するうえで、今後も中心的な役割を担うことが期待されている。 【事業の目的及び効果】 本市における国際交流・多文化共生の推進の拠点として当該施設を運営することにより、市民の国際意識の高揚、相互理解の増進を図ることで、地域における共生意識の醸成につなげる。 【事業の内容】 ・中国語及び英語担当職員の配置による外国人住民向けの情報発信・相談対応 ・国際理解講座の運営 ・市報の翻訳やリサイクル生活用品の提供など 【事業の実績】 [利用件数] [利用者数] 令和3年度 1,329件 12,495名 令和4年度 1,328件 14,778名 令和5年度 1,350件（見込） 14,800名（見込）				

企021	項目名	在住外国人支援事業費	新規事業
予算書項目	国際交流プラザ運営費	ページ	177
年度	R6	所 属 名	企画推進部 文化交流課 国際交流プラザ
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】国際交流プラザ 0857-31-3253		
款 総務費	【1次総の施策体系】1404 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 「世界に開かれた交流都市鳥取」の理念のもと、国際交流の推進、国際感覚豊かな人づくりや多文化共生のまちづくりに取り組んでいる。日本人住民も外国人住民も多文化共生の意義を理解し、互いに安心・安全に暮らしていくため、地域における共生意識の醸成に向けた取組が求められている。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 外国人住民の日本語習得に対する支援や交流機会を創出することにより、外国人住民の日本社会に対する理解の推進を図ることで、地域における共生意識の醸成につなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 (1) 日本語ボランティアの登録促進、日本語指導ボランティア講習会の開催など (2) 外国人住民を含めた市民が交流する談話会「にほんごカフェ」の開催		
前年度当初予算額	91	【事業の実績】 (1) 日本語ボランティア活動者数（講習会開催回数） 令和3年 48名（中止） 令和4年 45名（中止） 令和5年 50名（1回）（見込） (2) にほんごカフェ参加者数（開催回数） 令和3年 29名（4回） 令和4年 38名（4回） 令和5年 20名（2回）（見込）	
本年度要求額	167		
総務部長段階査定額	167	【事業の内容】 (1) 日本語ボランティアの登録促進、日本語指導ボランティア講習会の開催など (2) 外国人住民を含めた市民が交流する談話会「にほんごカフェ」の開催	
市長段階査定額	167	【事業の実績】 (1) 日本語ボランティア活動者数（講習会開催回数） 令和3年 48名（中止） 令和4年 45名（中止） 令和5年 50名（1回）（見込） (2) にほんごカフェ参加者数（開催回数） 令和3年 29名（4回） 令和4年 38名（4回） 令和5年 20名（2回）（見込）	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 (1) 日本語ボランティアの登録促進、日本語指導ボランティア講習会の開催など (2) 外国人住民を含めた市民が交流する談話会「にほんごカフェ」の開催	
財源内訳		【事業の実績】 (1) 日本語ボランティア活動者数（講習会開催回数） 令和3年 48名（中止） 令和4年 45名（中止） 令和5年 50名（1回）（見込） (2) にほんごカフェ参加者数（開催回数） 令和3年 29名（4回） 令和4年 38名（4回） 令和5年 20名（2回）（見込）	
国・県支出金	0	【事業の内容】 (1) 日本語ボランティアの登録促進、日本語指導ボランティア講習会の開催など (2) 外国人住民を含めた市民が交流する談話会「にほんごカフェ」の開催	
地方債	0	【事業の実績】 (1) 日本語ボランティア活動者数（講習会開催回数） 令和3年 48名（中止） 令和4年 45名（中止） 令和5年 50名（1回）（見込） (2) にほんごカフェ参加者数（開催回数） 令和3年 29名（4回） 令和4年 38名（4回） 令和5年 20名（2回）（見込）	
その他	0	【事業の内容】 (1) 日本語ボランティアの登録促進、日本語指導ボランティア講習会の開催など (2) 外国人住民を含めた市民が交流する談話会「にほんごカフェ」の開催	
一般財源	167	【事業の実績】 (1) 日本語ボランティア活動者数（講習会開催回数） 令和3年 48名（中止） 令和4年 45名（中止） 令和5年 50名（1回）（見込） (2) にほんごカフェ参加者数（開催回数） 令和3年 29名（4回） 令和4年 38名（4回） 令和5年 20名（2回）（見込）	
計	167	【事業の内容】 (1) 日本語ボランティアの登録促進、日本語指導ボランティア講習会の開催など (2) 外国人住民を含めた市民が交流する談話会「にほんごカフェ」の開催	
備考欄			

企022	項目名	市民国際理解推進事業費	新規事業
予算書項目	国際交流プラザ運営費	ページ	177
年度	R6	所 属 名	企画推進部 文化交流課 国際交流プラザ
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】国際交流プラザ 0857-31-3253		
款 総務費	【1次総の施策体系】1404 ●実施計画 ●創生総合戦略		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 「世界に開かれた交流都市鳥取」の理念のもと、国際交流の推進、国際感覚豊かな人づくりや多文化共生のまちづくりに取り組んでいる。日本人住民も外国人住民も多文化共生の意義を理解し、互いに安心・安全に暮らしていくため、地域における共生意識の醸成に向けた取組が求められている。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 市民が外国の言語や生活文化・習慣などについて学ぶ機会を創出することにより、国際感覚の醸成や外国人住民に対する理解の推進を図ることで、地域における共生意識の醸成につなげる。		
(単位：千円)	【事業の内容】 (1) 国際理解講座（料理教室、講演会、展示会など）、多文化交流フェスタの開催など (2) 外国語講座（韓国語、ドイツ語、中国語、小学生向け英語など）の開催		
前年度当初予算額	312	【事業の実績】 (1) 国際理解講座参加人数 令和3年度 159名 令和4年度 120名 令和5年度 80名（見込） (2) 外国語講座受講人数 令和3年度 34名 令和4年度 35名 令和5年度 60名（見込）	
本年度要求額	312	【事業の内容】 (1) 国際理解講座（料理教室、講演会、展示会など）、多文化交流フェスタの開催など (2) 外国語講座（韓国語、ドイツ語、中国語、小学生向け英語など）の開催	
総務部長段階査定額	312	【事業の実績】 (1) 国際理解講座参加人数 令和3年度 159名 令和4年度 120名 令和5年度 80名（見込） (2) 外国語講座受講人数 令和3年度 34名 令和4年度 35名 令和5年度 60名（見込）	
市長段階査定額	312	【事業の内容】 (1) 国際理解講座（料理教室、講演会、展示会など）、多文化交流フェスタの開催など (2) 外国語講座（韓国語、ドイツ語、中国語、小学生向け英語など）の開催	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 (1) 国際理解講座参加人数 令和3年度 159名 令和4年度 120名 令和5年度 80名（見込） (2) 外国語講座受講人数 令和3年度 34名 令和4年度 35名 令和5年度 60名（見込）	
財源内訳		【事業の内容】 (1) 国際理解講座（料理教室、講演会、展示会など）、多文化交流フェスタの開催など (2) 外国語講座（韓国語、ドイツ語、中国語、小学生向け英語など）の開催	
国・県支出金	0	【事業の実績】 (1) 国際理解講座参加人数 令和3年度 159名 令和4年度 120名 令和5年度 80名（見込） (2) 外国語講座受講人数 令和3年度 34名 令和4年度 35名 令和5年度 60名（見込）	
地方債	0	【事業の内容】 (1) 国際理解講座（料理教室、講演会、展示会など）、多文化交流フェスタの開催など (2) 外国語講座（韓国語、ドイツ語、中国語、小学生向け英語など）の開催	
その他	0	【事業の実績】 (1) 国際理解講座参加人数 令和3年度 159名 令和4年度 120名 令和5年度 80名（見込） (2) 外国語講座受講人数 令和3年度 34名 令和4年度 35名 令和5年度 60名（見込）	
一般財源	312	【事業の内容】 (1) 国際理解講座（料理教室、講演会、展示会など）、多文化交流フェスタの開催など (2) 外国語講座（韓国語、ドイツ語、中国語、小学生向け英語など）の開催	
計	312	【事業の内容】 (1) 国際理解講座（料理教室、講演会、展示会など）、多文化交流フェスタの開催など (2) 外国語講座（韓国語、ドイツ語、中国語、小学生向け英語など）の開催	
備考欄			

企023	項目名	地域情報化推進費	新規事業
予算書項目	地域情報化推進費	ページ	175
年度	R6	所 属 名	企画推進部 情報政策課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 情報政策係 0857-30-8026		
款 総務費	【1次総の施策体系】 2405 ●実施計画 ●明るい未来プラン		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 地域情報化推進のため、通信ネットワーク、携帯電話、コミュニティFMなどの情報通信基盤および行政サービスを提供してきた。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 地域情報化推進のため、情報化に関する情報収集を行うとともに、総合行政ネットワーク、鳥取情報ハイウェイ市町村アクセス網、地域イントラネット、公衆無線LAN、携帯電話用鉄塔等の各種情報通信基盤及び情報提供システムの適切な管理を行う。		
(単位：千円)	①市民、地域とのコミュニケーションの促進 ・公共施設、地区公民館等の高速インターネット環境・公衆無線LAN環境整備 ・「地域ふれあいサイト」(地区ホームページの運用) ・コミュニティスタジオの管理		
前年度当初予算額	28,479	②小・中学校における快適な情報教育環境の実現 ・小・中学校の高速インターネット環境整備	
本年度要求額	36,580	③ICTを活用した各種行政サービスの提供による市民の利便性の向上 ・「とっとり施設予約サービス」等	
総務部長段階査定額	34,422	④携帯電話鉄塔・伝送路の維持管理	
市長段階査定額	34,422	⑤コミュニティFM中継局の維持管理	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 (1) 地域イントラネット(学校、公民館等拠点接続)・公衆無線LAN管理 (2) 施設予約システムの管理 (3) 電柱共架料(イントラネット関係、総合行政ネットワーク関係) (4) 携帯電話用鉄塔・伝送路の借地維持管理	
財源内訳		【事業の実績】 令和3年度 21,415千円 令和4年度 22,569千円 令和5年度 28,479千円(見込)	
国・県支出金	1,606	※その他財源の諸収入は、携帯電話伝送路使用料、コミュニティFM中継局設備使用料	
地方債	1,000		
その他	802		
一般財源	31,014		
計	34,422		
備考欄			

企024	項目名	超高速情報通信基盤整備事業費	新規事業
予算書項目	有線テレビジョン放送施設管理費	ページ	177
年度	R6	所 属 名	企画推進部 情報政策課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 情報政策係 0857-30-8026		
款 総務費	【1次総の施策体系】 2405 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 市民生活に必要な不可欠な社会基盤の一つとして、近年の情報化社会におけるICT利活用のため超高速情報通信網が必要となるが、整備の遅れている地域があるため、格差是正に向けた取り組みが求められている。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 目的：本市が所有する有線テレビジョン放送施設の耐災害性強化、老朽化及び高速化対応のため、有線テレビジョン放送施設のFTTH化を行う。		
(単位：千円)	経過：CATV公設民営エリアの中の光化未整備地域における、伝送路設備の光ファイバ化、局舎内機器整備を進めてきた。		
前年度当初予算額	198,055	R2.7補正【通信のみ】：明治地区、国府町(東部)、福部町、河原町(神馬地域)、用瀬町、佐治町、気高町(南部)、鹿野町、青谷町(南部)	
本年度要求額	312,001	R3.6補正【通信のみ】：青谷町(北部) R4.1補正【通信/放送】：気高町(北部) R4当初：局舎内放送機器整備(国府・河原除く) R5.2補正【通信/放送】：国府町(西部)、河原町 ・引込宅内修繕 R3~	
総務部長段階査定額	305,950	効果：有線テレビジョン放送網FTTH化に伴うCATV耐災害性強化、ICT利活用推進	
市長段階査定額	305,950	【事業の内容】 超高速情報通信網の整備	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和3年度【青谷町北部】 124,909千円(実績) 令和3年度(令和4年度繰越)【気高町北部】 896,563千円(実績) 令和4年度 局舎内放送機器整備(国府・河原除く) 470,358千円(実績) 令和5年度 引込宅内修繕 198,055千円(見込) 令和5年度(令和4年度繰越)【国府町西部、河原町】 1,167,158千円(見込)	
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	305,700		
その他	0		
一般財源	250		
計	305,950		
備考欄			

企025	項目名	次期基幹システム構築事業費	新規事業	○
予算書項目	住民情報システム管理費	ページ	181	所属名
年度	R6	企画推進部 情報政策課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】情報システム係 0857-30-8027			
款	総務費	【1次総の施策体系】2405		
項	総務管理費	【事業の目的及び効果】 地方公共団体情報システムの標準化に関する法律に基づく「地方公共団体情報システム標準化基本方針」に従い、令和7年度に標準化基準に適合するシステムを導入することで、システム管理に伴う人的・財政的負担を軽減し、新たな住民サービスの迅速な展開を可能とするもの。		
目	電算処理費	【事業の内容】 標準仕様書準拠システムの導入 (1) 標準仕様書と現行住民情報系システムとのFit&Gap分析 (2) 業務フローの見直し検討 (3) 標準準拠システムの設定・移行作業 (4) ガバメントクラウドの利用環境整備		
(単位：千円)	【事業の実績】 令和5年度 標準仕様書とのFit&GAP、外字同定作業			
前年度当初予算額	0			
本年度要求額	236,045			
総務部長段階査定額	182,524	【事業の内訳】		
市長段階査定額	182,524	令和5年度 標準仕様書とのFit&GAP、外字同定作業		
区分	本年度予算額	分担金		
国・県支出金	174,604	負担金		
地方債	0	使用料		
その他	0	手数料		
一般財源	7,920	財産収入		
計	182,524	寄付金		
		繰入金		
		贈収入		
		その他		
備考欄				

企026	項目名	鳥取県自治体ICT共同化推進協議会事業費	新規事業	
予算書項目	電算事務費	ページ	181	所属名
年度	R6	企画推進部 情報政策課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】情報政策係 0857-30-8026			
款	総務費	【1次総の施策体系】2405 ●実施計画 ●創生総合戦略 ●明るい未来プラン		
項	総務管理費	【事業の経過及び背景】 鳥取県自治体ICT共同化推進協議会会則（平成27年5月12日施行） " 広域連携協約（平成28年4月1日締結） 鳥取市と鳥取県との間の地方公共団体における情報通信技術の共同化に関する事務の委託に関する規約（平成29年4月1日施行）		
目	電算処理費	【事業の目的及び効果】 会員が相互に連携・共同した取組により、人口減少社会に対応する行政体制の維持、事務の効率化を目指し、業務や情報システムの標準化、共同化による経費削減のほか、情報システム運用上の安全性の確保、人材育成等に資することを目的とする。 名称：鳥取県自治体ICT共同化推進協議会 会員の構成：鳥取県、鳥取県内市町村		
(単位：千円)	【事業の内容】 (1) 全会員又は特定の会員が共同で取り組む情報システムの整備及び運用等に関すること (2) 情報セキュリティに係る脅威に対する適切な対策に関すること (3) 行政職員におけるICT分野の人材育成に関すること (4) その他協議会の目的達成に必要な事業 ①行政イントラシステム（協議会調達）利用期間：（第2期）R4.12～R9.11 ②電子申請・届出システム（協議会調達）利用期間：（第1期）R5.4～R10.3 ③（鳥取・岡山）自治体セキュリティクラウド（鳥取県調達） 利用期間：（第2期）R4.4～R9.3 ④インターネット回線の共同調達（鳥取県調達）利用期間：③と同じ			
前年度当初予算額	11,833	【事業の実績】 令和3年度 12,445千円 令和4年度 11,420千円 令和5年度 11,833千円（見込）		
本年度要求額	11,657			
総務部長段階査定額	11,657	【事業の内訳】		
市長段階査定額	11,657	令和5年度 標準仕様書とのFit&GAP、外字同定作業		
区分	本年度予算額	分担金		
国・県支出金	0	負担金		
地方債	0	使用料		
その他	0	手数料		
一般財源	11,657	財産収入		
計	11,657	寄付金		
		繰入金		
		贈収入		
		その他		
備考欄				

企027	項目名	自治体行政スマート事業推進費	新規事業
------	-----	----------------	------

予算書項目	情報通信技術利活用促進事業費	ページ	181
-------	----------------	-----	-----

所属名	企画推進部 情報政策課
-----	----------------

年度	R6
----	----

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	電算処理費

(単位：千円)

前年度当初予算額	38,717
----------	--------

本年度要求額	7,500
--------	-------

総務部長段階査定額	7,200
-----------	-------

市長段階査定額	7,200
---------	-------

区分	本年度予算額
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	7,200
計	7,200

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

備考欄

<p>事業の概要</p> <p>【問合せ先】 情報政策係 0857-30-8026</p> <p>【1次総の施策体系】 2405</p> <p>【事業の経過及び背景】 多様化する市民サービスと労働力不足の課題への対策として、ICT技術を利用した次世代情報システムの導入に向けた調査・検討を進めてきた。</p> <p>【事業の目的及び効果】 目的：多様化する市民サービスと労働力不足の課題への対策として、ICT技術を利用した次世代情報システム(AI、RPA)を活用し、行政事務の効率化と市民サービスの向上を図る。 効果：これまで人手で行ってきたデータ入力業務を、次世代情報システムの利用及び行政手続きをオンライン化することで、事務の省力化、効率化、高速化を実現し、職員負担の軽減による働き方改革につなげる。</p> <p>【事業の内容】 (1) RPAツールの導入 L GWAN系ネットワークおよび住民情報系ネットワークそれぞれにRPAツールを構築し、効果の高い業務から順次、事務の移行を進めていくことで、職員を単純業務から解放し、専門業務に専念させることができる。 (2) AI議事録ツールの導入 各課で必要に応じて行っている、会議議事録の作成について、AI議事録ツールを導入することで、作成にかかる時間及び負荷を軽減し、市民への情報提供を迅速化させ、あわせて職員を専門業務に専念させることができる。 (3) 行政手続のオンライン化 マイナポータル経由で受付した電子申請情報を住民情報系システムに取込を行うことで、行政手続の効率化を図る。</p> <p>【事業の実績】 令和3年度 4,589千円 令和4年度 24,031千円 令和5年度 38,717千円(見込)</p>
